

# 赤リン含有分析サービス

発熱、発煙事故を引き起こす赤リン難燃剤の有無を測定します。

赤リンとはリン元素のみからなる赤色粉末で、自己発火性、有害性は低く(黄リンとの違い)、難燃剤以外ではマッチ箱の側薬等に用いられます。難燃剤として使用される赤リンが原因で、電源コード・コネクタなどが絶縁不良(赤リンによるマイグレーション)になり、過熱・発煙などのトラブルを起こす場合があります。



赤リンの粉末



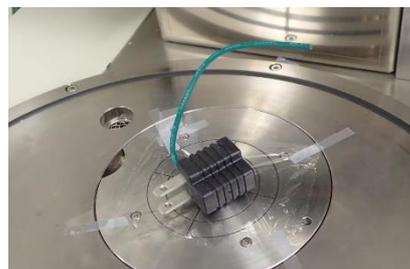
発熱して変形したDCプラグ

## 赤リン含有分析サービスの特長

使用部材への赤リン含有有無について、費用や時間を鑑みて次の手順での分析をお奨めしています。

### (1) スクリーニング-蛍光X線分析(XRF)

部材にX線を照射し、部材内部にリン元素があるかどうか調べます。部材によっては解体等が必要となりますが、分析自体は数分という短時間で可能です。



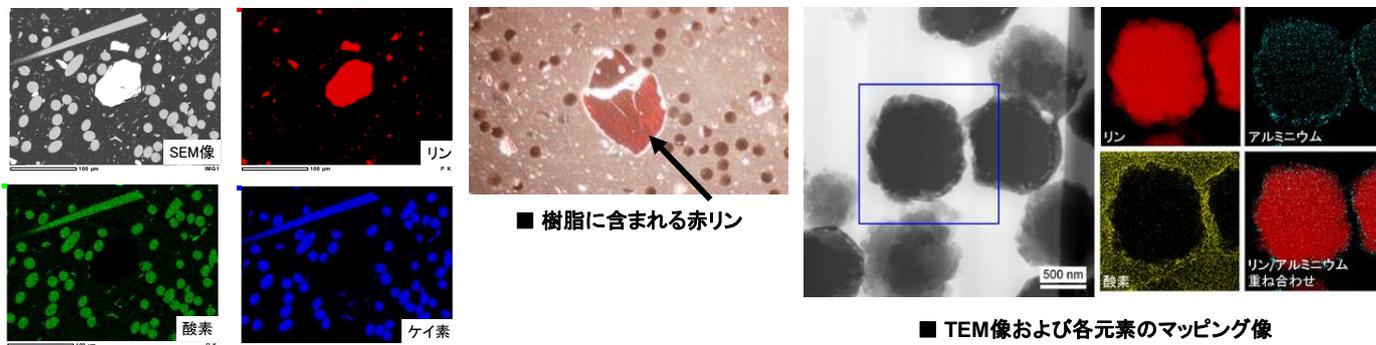
■ 蛍光X線分析

### (2) 詳細分析-断面観察

部材に使用されるリンは赤リンとは限りません。発熱トラブルとは無縁の有機リン系難燃剤もあります。当社は豊富な経験を生かし、SEM-EDXやマイクロスコップ等による断面観察技術で赤リン含有有無をご報告致します。

### (3) コーティング膜調査-TEM分析

赤リンのトラブル防止のため、コーティング処理されている場合があります。コーティング膜の有無をTEM分析で調査します。



■ SEM像および各元素のマッピング像

■ TEM像および各元素のマッピング像

お問い合わせ先

**ユーロフィンFQL株式会社** 信頼性評価、環境試験、故障解析、品質保証サポート

Tel : 044-280-9948 (9時~17時 土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/group/fql/contact/evaluation/>

E-mail : [fql-evaluation@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fql-evaluation@cs.jp.fujitsu.com)